



代々木公園

## 令和3年度各会計歳入歳出決算を認定

渋谷区行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例、令和4年度一般会計補正予算等を可決

令和4年第3回定例会は、9月7日から10月11日までの35日間開かれました。

本会議では初日に2人の議員が、2日目には3人の議員がそれぞれ代表として一般質問を行い、3日目には5人の議員が個人として一般質問を行いました。

9月20日の中間本会議では、渋谷区行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例など条例3件及び令和4年度一般会計補正予算2件、都市

再生ステップアップ・プロジェクト(渋谷地区)渋谷一丁目地区共同開発事業に関する基本協定締結について1件を可決しました。

10月11日、最終日の本会議では、職員の高齢者部分休業に関する条例など条例13件、令和4年度一般会計補正予算1件、契約1件、指定管理者の指定3件を可決し、令和3年度各会計歳入歳出決算4件を認定、報告6件を聴取しました。また、決議1件、意見書1件を決定しました。

### 令和3年度各会計歳入歳出決算額

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	1,299億7,898万5,645円	1,135億6,718万1,163円	164億1,180万4,482円
国民健康保険事業会計	242億3,934万8,044円	236億3,933万1,041円	6億 1万7,003円
介護保険事業会計	161億3,608万4,301円	150億5,993万6,808円	10億7,614万7,493円
後期高齢者医療事業会計	55億8,130万6,275円	55億3,014万 906円	5,116万5,369円

### 次回定例会のお知らせ

●令和4年第4回定例会は、11月22日から開かれる予定です  
本会議は、通常、初日と2日目、3日目に一般質問、最終日に議案の議決等が行われます。

### 北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議

10月4日、北朝鮮は我が国上空を通過する形で弾道ミサイルを発射した。

北朝鮮の度重なる弾道ミサイルの発射は、我が国はもとより、国際社会全体にとってこれまでにない深刻かつ重大な脅威であり、断じて許すことはできない。

ここに「平和・国際都市」を標榜する渋谷区の議会として、北朝鮮に対してあらためて厳重に抗議するとともに、政府に対し、北朝鮮がこのような危険な行為を繰り返さないよう、関係諸国と連携し、断固たる対応をとるよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年10月11日

渋谷区議会



一般質問(代表)

防災、新型コロナ感染症対策、福祉等8点について伺う



自由民主党 一柳 直宏 議員

防災について

問 ①大向・笹塚地区の渋谷防災キャラバンの手応えは。②地域防災訓練は参加者の裾野を広げるとともに若手住民を地域防災の担い手として育てるべき。③要支援の度合いや所在把握の機会にもなるの



渋谷区総合防災訓練 渋谷防災キャラバン大向地区の様子

で要支援者避難を想定した地域防災訓練実施を。④本区南エリアの防災職員住宅確保の方法は。⑤区内全域の帰宅困難者受入施設拡充を。⑥地域防災計画見直しの方向性は。

区長 ①約9割が次回も参加したいと回答。おおむね好評価。②自主防災組織活動や避難所運営への参加につなげられるよう取り組む。③避難支援プランを作成し実施に向けて検討。④民間住宅借上げ等も検討。⑤都との連携や事業者との調整を図り拡充に努める。⑥都の見直しの動向を注視し、具体的な区の方向性検討。

新型コロナウィルス感染症対策について

問 ①教育現場の濃厚接触者新基準の運用は。②小児接種には丁寧な説明が必要。ワクチン接種を含めた子どもたちへのこれからの対応は。③従来型とオミクロン株に対応する二価ワクチン接種が始まるまでの接種の進め方は。接種促進の方針に変更は。

区長 ①小児接種にも努力義務が適用された。厚労省の情報を丁寧に周知していく。③接種できるときに接種いただく方針に変更はなく接種勧奨を行う。二価ワクチン接種の国からの情報は丁寧に周知。教育長 ①7月末に園や小学校に通知し適切に対応。

福祉について

問 重層的支援体制整備事業で重視される「相談支援」の強化の一環として、高齢者・障がい者分野の包括的相談窓口設置は、区内全11か所の包括支援センターに設置すべき。区長 センターの相談機能拡充に向け取組を強化していく。

環境問題について

問 ①渋谷区環境基本計画の見直しの方向性と考え方は。②脱炭素の取組として、災害時支援にも活用可能な電動二輪車用バッテリーの充電スタンドを区内主要施設に設置し、電動二輪車とバッテリーのシェアリングを実証事業として導入しては。③定められた場所以外の喫煙防止対策として、指導員見回りエリア拡大の検討を。将来的には夜間巡回強化による喫煙指導のみならず、路上飲酒や落書き防止、防犯対策等の実現を。

区長 ①シブヤ若者気候変動会議の動向を参考に渋谷のまちから持続可能な社会を築くメッセージ性のある計画にしたい。②電気自動車給電設備の新設費用助成を開始。シェアリングについては先行する都の動向も注視し検討。③エリア拡大も含め新たな分煙対策啓発員導入の研究を進める。夜間巡回強化は区内の安全安心に資する。各種迷惑行為につき関係所管の連携を図り防止策・抑止策の検討を進める。

産業観光振興について

問 ①今秋開始予定のデジタル地域通貨事業・ハチペイをふるさと納税の返礼品として活用を。地域還元のため、返礼品のポイント利用を区内の飲食店や宿泊施設等に制限するなどの考慮をした制度設計は。②ポランティア活動に対するハチペイでの適正なポイント付与のガイドライン作成を。③新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金の今後の活用は。④電気工事や設備工事における区内事業者の積極的な登用を。⑤スタ

ートアップ・エコシステム拠点都市形成戦略の支援組織設立を含めた進捗と今後の動きは。⑥区内観光産業復活のための本区ならではの取組は。

区長 ①加盟店を募集中で、この情報を基にポイント利用できる店舗の制限はシステム上可能。運用方法を国と調整中。②バランスの良い運用ルールが必要。ガイドラインを策定し地域団体との共有を進めていきたい。③区民や事業者支援につながる様々なコロナ対策に活用していきたい。④区内事業者登用を検討しつつ、社会状況の変化に応じ最適な発注方法検討。⑤実証実験事業の採択数は順調に増加育成機関を設立し、スタートアップ企業の国際的活躍に必要な各種プログラムを提供し、グローバル市場進出のスタートアップを生むサイクルを生み出していく。⑥国内都市との連携を強化する取組や文化・エンタメ産業活性化のための調査・研究を実施。ハチペイの仕組み等も活用し観光や区内産業を活性化していく。

子育て支援について

問 渋谷駅周辺に新たに整備される広場が正しく利用されるようルールを決めるべき。区長 エリアマネジメントの活用等を視野に検討を進める。問 ①高校生までの医療費無償化の都の補助が令和7年度までであるため、8年度以降の財源や所得制限、自己負担の今後の対応は。また、実施時期は。②千駄ヶ谷区民施設に新設の保育所型認定こども園の運営は。③保育園の入園申込みはスマートフォンやオ

ンラインで申請可能に。

区長 ①財源は都と協議継続。所得制限超過の受給者及び自己負担金は自主財源で負担予定。来年4月から実施予定。②廃止する神宮前保育園にじの運営事業者を運営者とする。③来年4月からオンライン申請可能。窓口申請も継続。

教育について

問 ①「新しい学校づくり」整備計画の現時点での進捗とスケジュールは。②青山病院跡地仮設校舎においても未来の学校につながる学びの環境整備を。③教育ICTについて、教育データの利活用に向けた取組と今後の展望は。

区長 ①神南小学校は建て替え準備委員会設置。広尾・松濤中学校も建て替え準備委員会を順次立ち上げる。青山病院跡地仮設校舎は都有地借用申請書提出。近隣5校の仮設校舎設置のスポーツセンターは渋谷区体育協会等への説明を開始。ロードマップに基づく整備計画を着実に推進し教育環境を整える。②仮設校舎の一部に「新しい学校」整備方針で示したコンセプトがイメージできる場を設定したい。教育長 ③異なる発生源の教育データを関連付け複合的に集約し可視化。今後は学習データ等を活用し児童・生徒自らが学習状況を把握し主体的に進める仕組みづくりも検討。

高齢者福祉、防災対策、教育等6点について伺う



シブヤ笑顔 伊藤 毅志 議員

高齢者福祉について

問 ①特定健診の案内に「自分でできる認知症気づきチェックリスト」の同封を。②高齢者デジタルデバイス解消事業は継続を。情報格差解消に向けた今後の展望は。③米寿祝品贈呈のプッシュ型への改善と敬老事業の今後の展望は。

区長 ①同封には課題もあり、より効果的な機会や方法を検討。②貸与事業は終了するが、なんでもスマホ相談など継続。今後予定の実証事業の効果検証を踏まえ、施策を一層推進。③長期的な視点で検討、敬老事業全体の見直しを図る。

防災対策について

問 ①地域防災キャラバンの課題は。自衛隊、警察、消防などによる訓練の代替案は。②大規模開発などで避難所を失う地域の代替避難所は。③ペット用備蓄品

の種類、量は。ペット同伴避難所の設置を。

区長 ①日程調整や消防署の継続的協力、職員体制など課題。実践的な連携訓練を実施する方針。②あらゆる区有施設等を開放して受入れを想定。③ドッグフード792食、キヤットフード1188食、ペット用ケージ150個、犬用リード64本。大型テントを3年計画で33の避難所に配備。同伴避難所設置は今後検討。

教育について

問 ①「新しい学校づくり」整備方針による、1校の建て替え予算、全体の整備費、歳入見込みは。②小中一貫校の小学校は、区内全域から入学を認めるなど運用を。③青山病院跡地の仮設校舎建設に向けた借地契約の見直し、配置計画は。仮設校舎で学ぶ配慮や通学支援は。④整備方針活用と特色教育の再構築による選ばれる中学校づくりを。

区長 ①現時点では具体的な整備費を示す状況にない。財源の課題には全庁で取り組む。教育長 ②新たな小中一貫校設置に当たり検討。③令和5年度からの工事に向けて都に申請、校舎は3校が同時利用できる床面積を想定、校庭や



渋谷区総合防災訓練でのペット同行避難訓練



複数の体育館を整備。十分な学習環境での教育活動を支援。通学への対応は検討。④更に魅力ある特色づくりを検討。

子育て支援等について

問 ①町会活性化に、ホームページ等作成・更新を進め、加入促進にSNSの活用を。

②白根図書サービススポット活性化策として、博物館・文学館入館を無料に。③路上飲み

の規制、対策を。④渋谷一丁目地区共同開発で、北側住宅

エリアへの配慮は。美竹公園地下アリーナについて、避難

所や地域スペースとしての担保は。公園のホームレス対応、維持管理は。旧こどもの

城は都民の利用に供すべきと都に申し入れを。⑤ケアコミ

ユニティ原宿の丘建て替えて、地域ヒアリングにおける意見

は。区としての用途は。原宿の丘内各施設の今後の動向は。

区長 ①補助金要綱を見直し、利用拡大を図った。SNS活用

など事業化を検討。②企画展に併せ無料券配付を検討。

③酒類提供店舗への注意、指導などに努め、警察や関係機

関等と連携。④駐車場入口の配置や植樹により住環境に配

慮。避難所開設、地域住民交流の場の強化を募集条件とし

ている。隣接する施設と公園を一体的に管理、適切な公園

管理に努める。都に申し入れる。⑤使用状況を踏まえた課

題やアイデアを頂いた。幅広い世代のコミュニティ施設を

目指す。代替地を検討。

問 ①渋谷区がん対策推進会議「の設置を提案。

区長 健康増進計画の改訂を予定。設置は調査・研究する。

問 ①第7波での対応改善と効果は。②オミクロン株対応

ワクチン接種の詳細は。接種体制は個別接種等の継続を。5歳〜11歳の努力義務適用後、丁寧な情報提供を。10代〜30代の接種率向上へ踏み込んだ

「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」について

条例の進化・改正を強く求める。条例名称変更も必要

区長 包括的人権条例として進化させ、名称変更も検討。

マイナポイント申請支援等6点について



党 明 沢島 英隆 議員

マイナポイント申請支援等

問 ①出張所等に申請支援窓口の設置を。②更なる情報提供と手続スポットの情報掲載

を。③マイナンバーカードの活用と取りまとめ部署は。

区長 ①ハチペイ利用補助の際に申請サポート。②広報に

努め、取得方法も情報発信。③施設予約システムや行政手

続オンライン化で利用。デジタルサービス部を中心に連携。

問 ①第7波での対応改善と効果は。②オミクロン株対応

ワクチン接種の詳細は。接種体制は個別接種等の継続を。5歳〜11歳の努力義務適用後、丁寧な情報提供を。10代〜30代の接種率向上へ踏み込んだ

問 ①豊中市視察を区の重層支援にいかす方法は。地域資源

発掘やネットワーク構築の参加団体とその特色のいかし方は。地域福祉コーディネーターの更なる増員を。②渋谷区版フレイル予防実証事業の内容と成果、評価は。来年度から予算化し拡充を。③認知

症検診推進事業の成果と評価、周知啓発を。「認知症なっても展」の開催内容は。年度内に2回目実施を。④医療介護連携推進に向け取組の強化を。⑤シニアクラブ、町会等出張型スマホ相談会の実施を。

取組を。3、4回目対象で接種控えが起きないように周知を。区長 ①重症化リスクの高い患者に重点、都との役割分担で迅速な対応。②ワクチンが

福祉について

問 ①子育て支援センターcおしぶやの利用状況、成果、

評価は。都児童相談センターのサテライトオフィスとの連携事例は。②ヤングケアラー

への支援で、全国の模範となる取組を。③高校3年生までの医療費無料化決断の経緯と

内容、スケジュールは。④区独自不妊治療助成制度新設の経緯と内容、スケジュールは。

区長 ①昨年度1日平均100組程度の親子が訪れた。2

件の事業で立入調査と子ども保護。②子ども家庭支援セ

ンターでショートステイ事業を開始、「ヤングケアラー・

コーディネーター」を配置し関係機関との連携体制を強化

③早期実施の必要性。中学校修了までの医療証は延長して

発行、都の所得制限超過受給者と自己負担金は、3か年度

を区自主財源で負担予定。④保険適用範囲等が確定し補正

予算上程。一般不妊治療5万円、生殖補助医療10万円助成

申請開始は来年1月だが、本年4月治療開始は遡って支給

区長 ①渋谷区いじめ防止等対策推進条例「制定後の取組

と効果は。②区からいじめで苦しむ子どもを無くす決意を。防止対策に全力で取り組む。

教育長 ①5月から「学校教育相談事業」を開始。情報共有、事実確認など組織的に行

えた。②児童・生徒が自分の可能性を十分発揮できるように

いじめ防止対策に力を尽くす。

問 ①渋谷区いじめ防止等対策推進条例「制定後の取組

と効果は。②区からいじめで苦しむ子どもを無くす決意を。防止対策に全力で取り組む。

し、区有施設に支援員を派遣。子育て支援等について

地方創生臨時交付金の活用は。1人当たりの想定利用

問 地方創生臨時交付金の活用は。1人当たりの想定利用

額は、他のキャンペーンは。加盟店募集の状況と加盟店増加

に向けた取組は。ハチペイとまちのコイン連携で想定され

る事例は。早めの事業実施を。区長 交付金活用は検討。プ

レミアム率50%で1人2回まで、2万人分予定。アプリイ

ンストールなどでポイント付与、ハチペイ決済時ポイント

還元。様々な店舗から申込み、今後はプレミアム率や経済効

果のPR、ダイレクトメールも活用。まちのコインの一部

を「ハチペイポイント」に抽選で交換できる連携検討。明

確に時期を示すことは困難、早期のサービス開始を目指す。

DX推進について

問 渋谷区子育てネウボラ分野に導入のシステム詳細、ス

ケジュールは。今後の展開は。区長 ウェブサイト上で相談

予約が可能、相談内容入力で支援体制が整えられ、切目

ない支援が円滑に。今年度末に、個人にパーソナライズさ

問 ①大企業等のためのまちづくりを、区民の住環境を守

る方向に転換すべき。②ササハタハツ緑道整備は、会議に

参加できない住民からも様々な手法で意見を聞くべき。③

旧統一教会と区の関わりはなかつたか調査し明らかにせよ。

区長 ①討論を重ねながら進める。②きめ細やかに対応、積極的に情報を発信する。③確認したところ関わりはない。

れたポータルサイト公開予定。来年度以降、福祉の重層的支援体制整備事業へ活用の準備。

国葬について

問 区長は、国葬の中止を求め、黙とうや弔旗掲揚を区民

に強制すべきではない。区長 政府が閣議決定したもので中止は求めない。弔意の

表明は国の方針を踏まえ判断。区民が主役の区政を

問 ①大企業等のためのまちづくりを、区民の住環境を守る

方向に転換すべき。②ササハタハツ緑道整備は、会議に

参加できない住民からも様々な手法で意見を聞くべき。③

旧統一教会と区の関わりはなかつたか調査し明らかにせよ。

区長 ①討論を重ねながら進める。②きめ細やかに対応、積極的に情報を発信する。③確認したところ関わりはない。

問 ①旧渋谷図書館を改修し早期再開を。②学校施設整備

計画は学校関係者と住民の意見を聞き、見直しを。③学級規模は少人数編成で。④学校

統廃合をやめよ。⑤本町中一貫校の10年間について検証

を。⑥狭い敷地での学校施設と区民施設の複合化はやめよ

⑦学校給食の無償化の実施を。区長 ①改修し再開する考え

はない。②関係者と協議に入り、ロードマップを進める。

③国及び都の基準に基づき行う。④学校関係者等の声を伺

い、検討を進める。⑥複合化で教育環境の悪化はあり得ない。⑦無償とする考えはない

教育長 ⑤10年間の成果等について検証を行っている。

問 ①特養ホームの増設、けやきの苑・西原の建て替えを

②補聴器購入助成額引上げや対象の改善を。③初台敬老館は広く意見を聞き建て替えを

区長 ①引き続き検討、計画策定も見据え更に検討。②補助額や助成対象拡充は研究。

「国葬」中止と区民の暮らしのいのちを守る施策の充実を
日本共産党 五十嵐 千代子 議員

問 区長は、国葬の中止を求め、黙とうや弔旗掲揚を区民に強制すべきではない。

旧渋谷図書館の改修と学校建て替えは住民参加で見直しを

問 ①旧渋谷図書館を改修し早期再開を。②学校施設整備

計画は学校関係者と住民の意見を聞き、見直しを。③学級規模は少人数編成で。④学校

統廃合をやめよ。⑤本町中一貫校の10年間について検証

を。⑥狭い敷地での学校施設と区民施設の複合化はやめよ

⑦学校給食の無償化の実施を。区長 ①改修し再開する考え

はない。②関係者と協議に入り、ロードマップを進める。

③国及び都の基準に基づき行う。④学校関係者等の声を伺

い、検討を進める。⑥複合化で教育環境の悪化はあり得ない。⑦無償とする考えはない

教育長 ⑤10年間の成果等について検証を行っている。

問 ①特養ホームの増設、けやきの苑・西原の建て替えを

②補聴器購入助成額引上げや対象の改善を。③初台敬老館は広く意見を聞き建て替えを

区長 ①引き続き検討、計画策定も見据え更に検討。②補助額や助成対象拡充は研究。

問 ①特養ホームの増設、けやきの苑・西原の建て替えを

②補聴器購入助成額引上げや対象の改善を。③初台敬老館は広く意見を聞き建て替えを

区長 ①引き続き検討、計画策定も見据え更に検討。②補助額や助成対象拡充は研究。

問 ①特養ホームの増設、けやきの苑・西原の建て替えを

②補聴器購入助成額引上げや対象の改善を。③初台敬老館は広く意見を聞き建て替えを

区長 ①引き続き検討、計画策定も見据え更に検討。②補助額や助成対象拡充は研究。

問 ①特養ホームの増設、けやきの苑・西原の建て替えを

②補聴器購入助成額引上げや対象の改善を。③初台敬老館は広く意見を聞き建て替えを

区長 ①引き続き検討、計画策定も見据え更に検討。②補助額や助成対象拡充は研究。

ハチペイ Hachi Pay

デジタル地域通貨ハチペイ・ロゴ



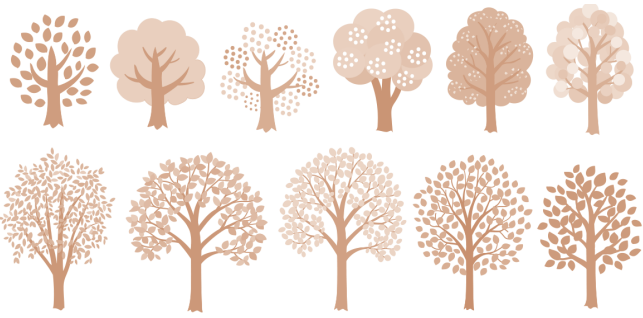
くげやきの苑・西原



③今後の方向性は検討する。

ジェンダー平等について

問 ①区の審議会の女性比率を高めるべき。②ファミリーシップ宣誓制度の導入検討を。 区長 ①更なる取組を推進する。②「渋谷区パートナーシップ証明実態調査」の結果を踏まえて判断。



区政運営、区有施設の管理等 7点について伺う



立憲民主党 小田 浩美 議員

区政運営について

問 ①重層的支援体制の進捗は。②予算の枠配分方式はノウハウがある人材配置や研修、部局間横断的な協議も必要では。③ICT監査実施体制の構築を。④給食費補正予算額の根拠、追加予定は。生活ひっ迫状況の把握、直接支援は。⑤ハロウィン対策は。年末イベント実施と今後の方向性は。⑥新しい学校づくりのパブリックコメント実施を。 区長 ①来年4月に向け準備。②研修を既に実施、部局間の連携を支持。③研究する。④米の購入費半額を補助、追加は適宜検討。把握の仕組みを検討、直接支援する考えはない。⑤関係機関と連携し対策。⑥既にいかしたものがなっている。

区有施設の管理について

問 ①渋谷区図書館跡地の管理 体制は。②富山



学校給食室の劣化したダクト

臨海学園跡地の保全管理は。③渋谷区図書館跡地は地域のため再活用を。 区長 ①安全管理を図る。②警備など適切に管理。③検討。 共生社会と人権について 問 ①パワハラ周知啓発と支援等の行動を。パワハラ防止条例の策定を。②男性トイレにサンタリーボックス設置を。 区長 ①パンフレット、専門相談窓口を周知。訴訟助成の考えはない。現行条例の改正の中で検討。②研究課題。

環境と食について

問 ①学校給食などに有機食材導入を。②マイボトル給水機の設置を。③ねずみ駆除を。 区長 ①取り入れる考えはない。②試験設置の結果を踏まえ判断。③対策・指導を徹底。

学校教育環境について

問 ①特色ある学校づくりの偏りを解消し、全校平等な受験科目対策を。②仮設校舎の通学対策は。③栄養士会要望の給食施設の修繕を。④本年度、冷暖房設備の保守件数は。 教育長 ①学校ごとの取組を支援。②小学校には対応を検討。③緊急性や危険性などを総合的に判断し行う。④22件の修理や取替えを実施。

災害・防災対策について

問 ①内水氾濫危険性の再調査を。②インクルーシブ防災体制を形に。③集合住宅対策を。④アロープロジェクトは危機管理対策部と切り離しを。 区長 ①洪水ハザードマップは内水氾濫も加味、再調査の考えはない。②既に整えている。③マンション防災マニュアルを普及啓発。④帰宅困難者対策の一環として継続。

選挙投票所の運営について

問 ①なりすまし投票防止策は。②共通投票所の導入は。 選挙委員長 ①罰則をもって禁止され抑止効果がある。②都市部に必要なく考えはない。

一般質問(個人)

ササハタハツ緑道再整備等 2点を伺う



れいわ渋谷 堀切 稔仁 議員

区民無き緑道再整備について

問 ササハタハツ緑道再整備計画の田根氏の関わった施設と資格について現地調査した。フランスのレストラン、スイスのバルテュス教会は内外装

のみで構造計算を必要とする建物はない。エストニアの国立博物館はデザインコンペで田根、ドレル、ゴメスの合弁会社のアイデアが採用され、氏はその構成員の一人ではない。①氏が設計をした大型建築、緑道開発の実績はない。東京ランドスケープ研究所と氏の選定基準及び経緯は。調査なしの選考か。実績と資格を持つ他の建築家にすべき。②実績がない人間の指揮で年間維持費や建造物の耐久性に課題がある場合、誰の責任か。③前本会議でフランスの一級建築士と答弁。区で調査したのか。答弁訂正すべき。④氏はフランスのランドスケープデザイナー資格免許がないが調査したか。⑤本事業の中で、区と区民との間にプランテイオ社が介在し、何か進めると予算がないという。区民へ直接支給すべき。契約形態、入札形態等は令和2年1月10日に随意契約。初めて再委託と出てきたが透明性がない。 区長 ①設計業務等の受託者として選定した同研究所が提案したデザイナーから区と受託者で選定。ふさわしい人物で変更の考えはない。②区が監督し構造物に不適合があれば受託者の責任。③本人に確認。前回「日本の一級建築士と同等の業務をフランスでできる資格」という意味で発言説明したので、これ以上申し上げることはない。④国内に免許制度がなく、確認の必要がない。⑤IoTプラント設置等のため同研究所から再委託。金額は昨年度830万円、今年度1400万円予定。

区と区長と統一教会について

問 ①渋谷区クリーンアップ

キャンペーンについて旧統一教会のフェイスブックに区長の写真が掲載され、2018年12月8日、翌年4月26日と両年の「ハロウィンごみゼロ大作戦」に区の要請を受けて20人の本部職員が清掃に参加と記載。誰が参加を要請したのか。②区が反社会的団体にお墨付きを与える構図は問題では。③同ページで区長が広告塔のよう。教会の信者に、区と区長との関係がさもありげ。写真の削除要請を。政治活動の応援はあるのか。関係

学校校則など4点を問う



立憲民主党 治田 学 議員

学校校則について

問 ①学校校則見直しの進捗は。②校則はHPで公開を。 教育長 ①生徒たちが髪型や服装を検討し、見直した例などがある。②生徒会新聞を作成し、HPで公開の事例も。

通学路の安全点検について

問 ①令和3年度の点検結果は。②HPで結果の公開を。③代々木山谷小学校新調整区域のための安全確保を。 教育長 ①126か所を点検し対応。②現在、公開準備中。

がないと明言すべき。④教会の本キャンペーンへの参加を拒むべき。募集方法や参加基準は。今年のハロウィン、カウントダウンには呼ぶのか。 区長 ①②④前年の参加団体へ、1か月前に依頼送付。参加基準規定はない。団体の思想信条等と美化協力は別で参加拒否にはつながらない。区のお墨付きを与えるという印象を周囲に与えるとは思わなかった。今後は国等の対応を踏まえ判断。③個人的な関係はなく写真削除も求めない。

高齢者、障がい者の移動支援

問 近隣区ではNPOに委託し、移動支援相談や介護タクシーをあっせん。当区でも。 区長 ニーズを把握し研究。

「ごみ拾いSNS」について

問 旧統一教会系団体が掲載事業者に削除を求めるべき。 区長 サイトからの削除を区から求める考えはない。



\*質問・答弁は要旨を掲載しています。詳しい内容は、区議会ホームページまたは会議録(12月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は区政資料コーナー、区立図書館でご覧になれます。



### 子育て支援と保育の充実、 気候危機打開に本気の取組を



日本共産党  
牛尾 真己 議員

#### 子育て支援と保育について

**問** ①子育て関係予算の拡充を国に求め、渋谷区こども条例の制定を。②子どもの貧困とヤングケアラーの実態調査、シングルマザー助成の実施を。③認可保育園の増設を。④施設と職員を維持できるように、認証保育所に未充足加算を。⑤3〜5歳児の保育士配置と面積基準引上げを国に求め、全園に年1回の実地検査を。⑥保育士処遇改善助成を。

**区長** ①②④⑤⑥その考えはない。③来年度1園開設。

#### 気候危機打開について

**問** ①石炭火力と原発撤退を国に求め、区としてカーボンニュートラル宣言を行い、CO2削減目標の引上げを。②区有施設の再エネ化、公用車のEV化、大型開発にZEBを求め、中小事業者や家庭の省エネ・再エネ化促進施策を。

**区長** ①その考えはない。②環境基本計画改定が必要に依り検討。区有車EV化は開始。

#### 神宮前周辺の再開発について

**問** 超高層ビル建設をやめ神

宮球場とラグビー場現地改修を都に求め、北青山3丁目開発への区民要望を都に伝えよ。

**区長** その考えはない。

### 障がい者福祉、教育について 伺う



シブヤ笑顔  
岡田 麻理 議員

#### 障がい者福祉について

**問** ①特定相談支援事業所の現状と課題は。②積極的に委託の門戸を広げ、持続可能な相談支援体制強化を。③障害児通所支援事業所の開設までの家賃助成を。④行動障害のある人たちの居場所確保を。

**区長** ①新規利用契約が難しい状況。利用者負担軽減の手法検討。②検討。③支援策を検討。④関係者と連携し検討。

#### 教育について

**問** ①オンラインの不登校支援複線化の進捗は。②フリースクール情報提供を。③「仮想空間の学校」活用を。④不登校支援体制強化を。⑤不登校の子供に引き合うフォロースタッフ積極派遣を。⑥東大先端科学技術研究センターのリソースセンターとの連携は。

**教育長** ①けやき教室相談員がオンライン面談実施等工夫していく。②検討。③事例研

究し様々な選択肢の提供に努める。④不登校相談ダイヤルから継続的支援につなげる。⑤9月以降増員。⑥教育プログラム提供や連携企画実施。

### ハチペイを利用した区民サービス向上等4点について伺う



須田 賢 議員

#### ハチペイを利用した区民サービス向上について

**問** 児童手当の所得制限により受給対象外の世帯に、ハチペイを使ってポイント給付を。若い世代に成人式の記念品と併せてポイント付与しては。

**区長** 児童手当の所得制限に対する支援としては考えていないが「はたちのつどい」記念品への展開は具体化した。

#### 便乗値上げ及び不当競争の防止について

**問** 事実上の独占事業である火葬業に対し、国に適切な規制を設けるよう要請すべき。

**区長** 公平性を担保するよう、各区と連携して対応を検討。

#### 落書き対策について

**問** 落書き犯に対する罰則強化、AI監視カメラ導入取組など、今後の対策の在り方は。

**区長** 防犯カメラ設置や防止

対策効果を検証中。警察と連携し犯人逮捕など成果を上げ、再発防止策の強化を進める。

#### 少子化対策について

**問** ハッピーマザー助成の増額を。無痛分娩の際に補助を。

**区長** 国の動向を注視し検討。区独自の補助は考えていない。



### お知らせ

#### ●議員の住所変更

岡 美千瑠 議員  
(令和4年7月17日)

新住所 西原3-1-4

新FAX番号 050-5805-6939

### 議会情報公開・個人情報保護実施状況

#### 情報公開関係(令和4年7月1日~9月30日)

請求件数	0件
文書件数	0件
公開件数	0件
非公開件数(不存在)	0件
適用外件数	0件

#### 個人情報保護関係(令和4年7月1日~9月30日)

請求件数	0件
------	----

## 決算特別委員会審査概要

令和3年度一般会計歳入歳出決算など4件の決算は、9月9日に設置した決算特別委員会(全議員33人で構成、委員長・栗谷順彦議員、副委員長・中村豪志議員)に付託し、4つの分科会(常任委員会の所管別、構成メンバーは常任委員会と同じ)に分かれ審査しました。

採決の結果、4件の決算をそれぞれ賛成多数で認定しました。決算特別委員会の各分科会が指摘した主な事項は、次のとおりです。

### 総務分科会

▼AIチャットボット総合案内については、フィードバックを分析して回答精度を高め、区民サービス向上に努められたい。

▼ふるさと納税については、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、渋谷区の特色をいかした体験型の返礼品を充実させて税収の流出を抑えるとともに、渋谷区が持つ魅力を一層アピールされたい。

▼本庁舎の中央エレベーターについては、エレベーター管理システムの調整も検討して、来庁者に不便をかけることがないように効率よく運行されたい。

### 文教分科会

▼安全対策推進事業については、客引き行為や若年層へのスカウト行為が竹下通りや恵比寿地区など区内全域でいまだ見受けられるため、パトロール体制を強化されたい。

▼子どもテニブルについては、重層的支援体制整備事業の子ども居場所づくりにおいて、必要となる取組であるため、社会福祉協議会、活動団体が協力し円滑に運営できるように引き続き助成されたい。

▼児童・生徒海外派遣研修については、現地への派遣のほか意欲のある子ども達が参加

### 福祉保健分科会

▼公衆浴場助成については、燃料費高騰により経営が厳しい状況にあることから、各浴場の実態により上乗せの補助を検討するなど、経営が継続可能となるよう助成されたい。

▼高齢者デジタルデバイス解消事業については、スマートフォンへの貸与期間終了後も、高齢者の生活の中にスマートフォンが定着していくように対応されたい。

▼障害者就労支援事業については、多くの障がい者の就労につながる支援をされたい。

▼子宮頸がん予防ワクチンについては、キャッチアップ接種の対象者に対する確実な周知に努められたい。

▼がん予防事業については、LINE等を活用した啓発活動を行うとともに、検診の機会を増やすなど受診率の向上に努められたい。



△決算特別委員会表決の様子



# 委員会の活動状況

令和4年6月16日〜令和4年10月11日

## 常任委員会

### 総務委員会

▼渋谷区総合防災訓練について報告を受けました。代々木公園における全体訓練から区内11地区での参加型訓練に変更し、今年度は5地区で試行すると聴取しました。対象地区内だけでなく、広く周知するように求めました。

▼一般会計補正予算3件について審査を行いました。物価高騰対策としての福祉施設への補助事業並びに子育て世帯等臨時特別支援事業、不妊治療助成事業、オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチン接種等に関して質疑を行いました。

▼デジタルコミュニケーションプラットフォームの一次リリースについて報告を受け、今回リリースする子育てネウボラ関連業務のオンライン相談予約等について、利便性向上に資するよう要望しました。

### 区民環境委員会

▼出張所、地域交流センター、借上げ高齢者住宅、公園、喫煙所など12か所の区内所管施設の視察を行いました。利用者目線での改善や運営上の工夫等を要望しました。

▼9月1日にリニューアルオープンした恵比寿南一公園を視察しました。民間事業者の



△恵比寿南一公園を視察

### 文教委員会

資金とノウハウを活用した再整備により、プレーパークや多目的スペース、ペット同伴可能なカフェ等が設置されています。子育て、コミュニティ拡大に貢献する公園を目指すとのこと、地域に愛される施設となるよう求めました。

▼後期高齢者の窓口負担割合が見直され、令和4年10月から1割の自己負担割合の方の一部が2割になるとの報告を受けました。加入者が混乱しないよう、わかりやすく丁寧な周知を要望しました。

▼デジタル活用支援員地域団体派遣について報告を受けました。区が認定した支援員を区内の町会やシニアクラブなどに派遣し、コミュニケーションの活性化を目的としたスマートフォンを活用をサポー

トする事業です。使いこなすための実践的な研修と丁寧なフォローアップを行うよう指摘しました。

▼令和5年度保育園の入園案内について説明を受けました。今年度から始まる入園のオンライン申請については、活用が促進されるよう説明をわかりやすく掲載するとともに、次年度以降に向けて検証をしっかりと行い、システムの利便性の向上を図るよう要望しました。

▼区役所15階に常設したポツチャコートについて説明を受け、視察を行いました。

### 福祉保健委員会

▼渋谷区障害者団体連合会との懇談会を開催しました。各団体から、人材や事業所の確保、障がい配慮した福祉避難所整備に対する要望等が寄せられました。

▼敬老金贈呈事業及び高齢者実態調査の実施方法について、



△渋谷区障害者団体連合会との懇談会

## 議会運営委員会

贈呈品の見直しや区独自のカタログ作成、実態調査項目の見直し等を行ったとの報告を受けました。調査票については、地域包括支援センターや民生委員等と情報共有し、高齢者の実態把握と問題解決につなげるよう要望しました。

▼9月7日、第3回渋谷区議会定例会が招集されました。当委員会では、事前に区長の出席を求め、提出予定議案として、職員の高齢者部分休業に関する条例の制定など条例16件、一般会計補正予算1件、令和3年度渋谷区一般会計及び各特別会計の決算認定4件、契約1件、渋谷区つばめの里・本町東の指定管理者の指定についてなど指定管理者の指

定3件、基本協定の締結1件、渋谷区土地開発公社の経営状況の報告など報告6件、また追加議案として一般会計補正予算2件を提出するとの説明を聴取しました。

## 特別委員会

### 自治権確立特別委員会

▼令和4年4月より渋谷区子育てネウボラ内に設置された東京都児童相談センターサテライトオフィスを視察しました。子ども家庭支援センターとの情報共有と役割分担の明確化により、これまで困難だったケースでも効果を上げたとの報告を受け、今後も円滑な連携を取るよう求めました。

▼中央防波堤埋立処分場内施設の視察を行いました。コロナ禍の影響による粗大ごみ搬

▼予防接種（キャッシュアップ）等の実施について報告を受けました。医療機関と連携するなど、HPVワクチンが有効な子宮頸がん予防であること等を更に周知徹底し、多くの対象者が接種できるよう求めました。

▼当委員会では、定例会の会期及び日程について協議し、会期を10月11日までの35日間とし、決算については、決算特別委員会を設置して審査することを決定しました。

入量の増加や、充電して使う電池付きの小型家電から出火した火災について説明を受けました。埋立処分場を少しでも長く使用していくに当たり、ごみの減量、分別、並びにリサイクルの重要性を改めて確認しました。

▼第42回渋谷清掃工場運営協議会の開催結果の報告を受けました。

▼8月30日、東京都が整備を進めている東京都市計画道路

環状第5の1号線（千駄ヶ谷の進捗状況を確認するため、現地の視察を行いました。この道路は、新宿御苑に隣接する千駄ヶ谷五丁目から新宿区内藤町に至る区間で、地上部（内回り・渋谷方面路線）と地下部（千駄ヶ谷よえんトンネル）（外回り・池袋方面路線）からなる2層構造の新設道路を調査しました。事業計画を所管する東京都第二建設事務所担当者からは、当該工事区間については現在、街路築造、横断歩道橋、道路標識、道路照明、トンネル非常用設備の工事を行っており、懸案である新宿駅周辺の交通渋滞緩和や沿道の環境改善等が期待され、年度内の交通開放を目指しているとの説明がありました。

### 多様性社会推進特別委員会

▼8月30日、青山学院大学附置スクーンメーカー記念ジェンダー研究センター視察しました。当施設は、青山学院



△青山学院大学附置スクーンメーカー記念ジェンダー研究センター視察

女子短期大学でのジェンダー研究を受け継ぎ、研究、教育、社会貢献事業を行っています。ギャラリイやライブラリイ、イベント等が、学生に限らず利用可能であることを広く周知されることを期待します。区としても、あらゆるジェンダー、セクシュアリティの方が安心して過ごせる空間づくりを目指していけるよう、更なる連携を約束しました。

### 官民連携事業調査特別委員会

▼渋谷区が令和4年5月に締結した「災害時における電動車両等の支援に関する協定」について三菱自動車工業株式会社及び東日本三菱自動車販売株式会社と懇談会を行いました。地震災害などによる大規模停電時の電動車両等を活用した電力確保等について実際に給電方法を視察し、質疑を行いました。電動車両等は停電時に電力を供給する重要な役割を担うとともに、脱炭素社会の実現という観点からも今後一層活用を考えた見がありました。

▼官民連携事業に取り組むソフトバンク株式会社のエグゼクティブブリーフィングセンターを視察し、スマートフォン等日常生活の利便性を向上させる最新のテクノロジーを体験し意見交換を行いました。

### 交通・公有地問題特別委員会



# 決算に対する各会派の意見

構成人数が3人以上の会派

## 賛成 渋谷区議会自由民主党議員団

新型コロナウイルス対策を中心とした区政の諸課題への対応と将来を見据えた予算執行を評価

新型コロナウイルスの感染拡大から1年を経た令和3年度は、感染症対策を中心とした様々な施策を実施しました。まず、国や都の補助金も活用して全9回、総額250億円を超える補正予算を組み、新型コロナワクチンの接種体制を整え、区内の病院や診療所に加え、集団接種会場も設置して迅速なワクチン接種を進めました。また住民税非課税世帯及び家計急変世帯への臨時特別給付金、子育て世帯臨時特別給付金として、総額67億円規模の生活支援を行いました。加えて国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、高齢者デジタルデバインド解消事業やライブハウス等支援事業、公立学校情報機器整備等を迅速に行いました。さらに新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金を設置し、中小企業への緊急経営支援特別資金融資あっせん事業を、国の交付金を活用して事業継続支援の安定化を図っています。

将来への備えとしては、学校を始めとする区有施設のインフラ整備を見据えて、65億円を都市整備基金に積み立てるとともに、60億円を財政調整基金に積立て、今後の財政の安定化と健全な運営についても手当てしています。

渋谷区議会自民党議員団は、今後も区民のための予算執行をしっかりと見守り、より住み良い渋谷区の創造に全力で取り組むことをお誓いし、令和3年度決算の認定に賛成致します。

## 賛成 渋谷区議会公明党

コロナ禍における区政の課題解決に取り組み、重層的支援体制の整備等、区民福祉向上の推進を高く評価

令和3年度もコロナ禍での新しい生活の在り方について、現場の声を区政につなぎ、区民福祉、区民サービスを停滞させることなく、重要課題への取組が前進しました。

我が会派は引き続き新型コロナワクチンの迅速な接種体制の強化、またコロナ禍における教育・子育て現場の安全対策等、区長に緊急要望を行い、その結果、集団接種会場の拡充や配慮ある個別接種の対応、また区立小中学校・幼稚園の全教室にCO<sub>2</sub>測定器の設置を実現しました。

また会派の重点課題として取り組んできた「重層的支援体制」が子育て、教育、福祉分野での連携強化がスタート。今後は『渋谷区子育てネウボラ』におけるヤングケアラー支援など関係所管と連携し、切れ目のないサポートを全力で推進して参ります。また高齢者福祉では、我が会派が提案した「デジタルデバインド(情報格差)解消事業」も2年目を迎え、デジタル活用支援員を増員。高齢者等に対してスマホを大いに活用し、様々なニーズに合わせて安心して情報や恩恵を受けられるようサポートが強化されました。今後も区が一丸となって情報格差を解消できるよう、デジタル支援人材を活用した支援窓口設置に取り組んで参ります。

渋谷区議会公明党は、今後も一層の区民福祉向上に全力で取り組むことをお誓いし、令和3年度決算に賛成致します。

## 賛成 シブヤを笑顔にする会

着実なコロナ対策と渋谷区らしい先進的な施策を両立課題解決とサービスの質向上を図る行政運営を評価

感染症対策を着実に進めながら、区民サービスの質を向上させるため、渋谷区らしい多分野にわたる先進的な施策を実現したウィズコロナにおける区政執行を評価致します。

コロナ対策では福祉施設利用者のPCR検査事業やワクチン接種体制の確保、生活困窮者や子育て世帯への支援を迅速に行い、電子マネーのポイント還元や事業者への感染症対策支援、緊急融資を通じてコロナ禍で疲弊した地域経済の活性化を図りました。

子育て支援では渋谷区子育てネウボラ拠点施設を開設し、多様な子育て支援が強化されました。教育では、いじめ防止の取り組みを強化、デジタル教科書の導入や学校給食、部活動の改革など、子どもたちを取り巻く教育環境を豊かにする施策を実施。福祉では神宮前三丁目障がい者施設の整備に着手。デジタルデバインド解消事業では高齢者のスマホデビューをサポート。まちづくりでは西参道や玉川上水旧水路緑道の再整備に本格着手。産業振興としては空店舗活用のためのマッチング事業や、スタートアップ企業の実証実験事業を行い、行政課題解決の新たな手法を試みました。行政運営では、区政データを収集するスマートシティ推進事業やLINEを通じた行政手続きの拡充などの仕組みを構築しました。

シブヤを笑顔にする会は、誰もが笑顔になれる渋谷区を区民の皆様と共に創っていくことをお誓いし、決算認定に賛成致します。

## 反対 日本共産党渋谷区議会議員団

コロナ禍の区民と中小業者の直接支援をせず、国保料値上げや渋谷図書館廃止の一方で、大企業奉仕に反対

新型コロナ感染症が猛威を振るい、区民も3万2,963人が感染しました。しかし、PCR検査も、区民と中小業者への区独自の支援も極めて不十分でした。

さらに、渋谷図書館の存続を求める5,700人を超える声を無視して廃止したことは断じて許されません。また国保料を17年連続で値上げし、非正規労働者や高齢者、自営業者を苦しめるとともに、認可保育園の待機児解消に背を向け区独自の介護サービスを削減するなど、福祉・くらし・教育を切り捨て、基金を102億円も増やし総額1,211億円にしました。

その一方で、渋谷駅桜丘口市街地再開発に7億5,600万円、渋谷駅五街区整備に10億5,260万円など大規模開発に血税を投入し、さらに海外のスタートアップ企業を呼び込むために5,279万円を支出。宮下公園は、区が便宜を図り三井不動産等に利益を上げさせ、北谷公園や恵比寿南一公園もPFI手法で公園を儲けの場にするなど大企業奉仕を拡大したことは認められません。

河津さくらの里しぶやには、1億2,398万円を執行しましたが、一人の宿泊経費に3万円もかけるムダ遣いです。

日本共産党区議団は、コロナ対策の抜本的強化、学校給食の無償化、国保料の負担軽減、特養ホーム増設など、区民のいのちとくらし最優先の区政実現に全力をあげます。

## 反対 立憲民主党渋谷

目的に沿わない事業や金額の適正性に課題のある随意契約、不透明な事業への支出がある本決算には反対

コロナ対策としては十分な検査体制が整備できず、また、ワクチン接種の予約が取りづらかった課題はありましたが、希望者は順次接種を受けることができました。コロナ禍で苦しむ方がいる一方で、区長部局の要請による区議会だよりの刷り直しや議会に説明しない渋谷未来デザインの不透明な事業への支出は容認することはできません。毎年2千万円近く支出している渋谷のラジオは電波も入らない地域があり聴取率も不明で補助をやめるべきです。また、災害時に矢印で避難誘導をする渋谷アロープロジェクトは人命を守る目的から逸脱した事業です。

おとなりサンデーや地域デビューガイド、ハロウィーン対策など随意契約での委託はその金額の適正性に課題があります。

公営の住宅を求める高齢者が多くいるにもかかわらず募集停止をしている区の姿勢は改めるべきです。

保護者や学校関係者、地域への十分な説明もなく3つの地域での小中一貫校化を含む学校再整備計画の策定はあまりにも強引です。まずは地域との対話を通しての建て替えを進めるよう厳しく指摘します。また、空調などの学校設備については、子どもたちの教育環境や現場で働く職員の労働環境改善のため、学校建て替えを待つことなく適切な対応をするべきです。

以上から、問題の多い本決算には反対いたします。

## 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

政府は、令和4年9月の月例経済報告において、「景気は、緩やかに持ち直している」との判断を示したものの、「ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある」とも指摘している。

こうした状況の中で、現在東京都が実施している固定資産税・都市計画税の減免措置等は、コロナ禍で厳しい経営環境にある中小零細企業者にとって、事業の継続や経営の健全化に大きな力となっている。これらの減免措置等を廃止した場合、区民とりわけ中小零細企業者の経営や生活は更に厳しいものとなり、地域社会の活性化、ひいては、日本経済の回復に大きな影響を及ぼすことになりかねない。

よって渋谷区議会は、東京都に対し、中小零細企業者等の経営基盤の強化支援を図るため、以下の措置を令和5年度以降も継続することを強く求めるものである。

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年10月11日

渋谷区議会議長名

東京都知事あて



令和4年 第3回定例会／議案等の概要と結果		自由民主党	シブヤ笑顔	公明党	日本共産党	立憲民主党	れいわ渋谷	その他(議席番号順)	無所属	無所属	結果
件名		概要									○賛成 ×反対
渋谷区行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例	1 行政手続等のオンライン化に係る規定の整備 2 関係条例(渋谷区印鑑条例)の改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
職員の高齢者部分休業に関する条例(制定)	1 趣旨 2 高齢者部分休業の承認 3 承認の取消し又は休業時間の短縮 4 休業時間の延長等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区手数料条例の一部を改正する条例	1 長期優良住宅の普及の促進に関する法律の改正に伴う長期優良住宅維持保全計画の認定申請手数料等の新設 2 渋谷区行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の改正に伴う規定の整備 3 その他規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	1 地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備 2 関係条例(職員の再任用に関する条例)の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	1 地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う育児休業の取得緩和に係る規定の整備 2 地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の改正に伴う定年引上げに係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
渋谷区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	公職選挙法施行令の改正に伴う規定の整備 公費負担の限度額の改定 自動車の借入れ契約 各日15,800円→各日16,100円等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和4年度渋谷区一般会計補正予算(第2号)	補正金額 10,262,749千円 繰越明許費の補正 債務負担行為の補正	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決
西参道プロジェクトに伴う道路改良工事(その3)請負契約	契約金額 229,900,000円 契約の相手方 城北興業株式会社 工期 契約の日から令和5年3月15日まで	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
渋谷区特別養護老人ホームの指定管理者の指定について	1 管理を行わせる施設の名称 渋谷区つばめの里・本町東 2 指定管理者となる団体名称 社会福祉法人奉優会 3 指定の期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで	○	○	○	×	○	×	○	○	○	可決
渋谷区高齢者在宅サービスセンターの指定管理者の指定について	1 管理を行わせる施設の名称 渋谷区つばめの里・本町東高齢者在宅サービスセンター 2 指定管理者となる団体名称 社会福祉法人奉優会 3 指定の期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで	○	○	○	×	○	×	○	○	○	可決
渋谷区グループホームの指定管理者の指定について	1 管理を行わせる施設の名称 渋谷区グループホームつばめの里・本町東 2 指定管理者となる団体名称 社会福祉法人奉優会 3 指定の期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで	○	○	○	×	○	×	○	○	○	可決
都市再生ステップアップ・プロジェクト(渋谷地区)渋谷一丁目地区共同開発事業に関する基本協定締結について	都市再生ステップアップ・プロジェクト(渋谷地区)渋谷一丁目地区共同開発事業に関する基本協定締結について	○	○	○	×	○	×	○	○	○	可決
令和4年度渋谷区一般会計補正予算(第3号)	補正金額 2,210,000千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和4年度渋谷区一般会計補正予算(第4号)	補正金額 2,244,078千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度渋谷区一般会計歳入歳出決算	歳入決算額 129,978,985,645円 歳出決算額 113,567,181,163円 歳入歳出差引残額 16,411,804,482円	○	○	○	×	×	×	○	○	○	認定
令和3年度渋谷区国民健康保険事業会計歳入歳出決算	歳入決算額 24,239,348,044円 歳出決算額 23,639,331,041円 歳入歳出差引残額 600,017,003円	○	○	○	×	○	×	○	○	○	認定
令和3年度渋谷区介護保険事業会計歳入歳出決算	歳入決算額 16,136,084,301円 歳出決算額 15,059,936,808円 歳入歳出差引残額 1,076,147,493円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和3年度渋谷区後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算	歳入決算額 5,581,306,275円 歳出決算額 5,530,140,906円 歳入歳出差引残額 51,165,369円	○	○	○	×	○	○	○	○	○	認定
北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定

### 第3回定例会／報告

#### ▽健全化判断比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び早期健全化基準

#### ▽渋谷区土地開発公社の経営状況

執行状況は、用地取得1,171,912,772円、用地売却 426,805,361円

#### ▽株式会社渋谷サービス公社の経営状況

営業実績は、指定管理事業、地域交流センター運営管理業務、児童青少年センター運営管理業務、自主事業、区民サービスセンター窓口事務業務等の全42事業で、売上は1,946,909,494円

#### ▽一般財団法人渋谷区観光協会の経営状況

事業活動は、情報提供事業、観光案内事業、観光インフラ整備事業、観光資源開発・整備事業、会員事業等

#### ▽公益財団法人渋谷区文化・芸術振興財団の経営状況

松濤美術館事業実績は、展覧事業6回、講演会3回、ギャラリートーク3回、建築ツアー17回、音楽会1回、美術教室2コース、その他事業4回等で、延べ利用者数39,107人

白根記念渋谷区郷土博物館・文学館事業実績は、展覧事業5回、講演会2回、講座8回、歴史・文学めぐり1回、散策1回、ギャラリートーク3回で、延べ利用者数5,986人

#### ▽株式会社渋谷都市整備公社の経営状況

渋谷区役所前駐車場の営業実績は、時間駐車利用台数が延べ212,335台で、営業利益は76,804,427円



今回は、第3回定例会の内容を中心にお知らせしました。今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。  
■区議会事務局調査係  
TEL 03-3463-1096  
FAX 03-5458-4939  
メールアドレス div-kugikai@shibuya.tokyo

#### 会派等一覧 令和4年10月1日現在 (◎幹事長/○副幹事長)

渋谷区議会自由民主党議員団(9人) TEL.03-3463-1034

◎丸山高司	中村豪志
○一柳直宏	斎藤竜一
松本翔	下嶋倫朗
斉藤貴之	木村正義
岡美千瑠	

シブヤを笑顔にする会(8人) TEL.03-3463-1046

◎岡田麻理	田中匠身
○橋本侑樹	葉丸義人
森田由紀	佐藤真理
神薗麻智子	伊藤毅志

渋谷区議会公明党(5人) TEL.03-3463-1036

◎久永薫	松山克幸
○栗谷順彦	沢島英隆
近藤順子	

日本共産党渋谷区議会議員団(4人) TEL.03-3463-1038

◎田中正也	○牛尾真己
○苫孝二	五十嵐千代子

立憲民主党渋谷(3人) TEL.03-3463-1042

◎治田学	○小田浩美
○吉田佳代子	

れいわ渋谷(2人) TEL.03-3463-1082

◎堀切稔仁	○金子快之
-------	-------

無所属(議席番号順)  
鈴木建邦 TEL.03-3463-1026  
須田賢 TEL.03-3463-1060

しぶや区議会だよりは各戸配布を行っています

発行日を3日過ぎても届かない場合など、区議会だよりの配布に関するお問合せは、区ニュース各戸配布コールセンターへ ☎ 0120-849-277 (月)~(土) 9:00~18:00 ※祝・休日、1月1~3日を除く